

バンド代表  
木村美智さん

会場には昨年度の文化祭のテーマ「結和」の題字④と今年度の文化祭で設置した巨大壁画が飾られた



## 地域の方々と合同のコンサートを開催



綾織中では閉校を記念したコンサートを開催しようと、先輩や地域住民の方々と「綾中メモリアルバンド2013」を結成しました。お世話になった学校に感謝するために1カ月前から全体練習を開始。閉校式後のコンサートで、これまで支えてくださった地域の方々や家族に感謝の気持ちを込めて演奏しました。私たちが育ててくれた綾織中学校、本当にありがとう。

## 未来の自分へメッセージ タイムカプセルを埋設

私たち土淵中3年生(3月末卒業)は、10年後にまた仲間たちと集えるように、タイムカプセルを埋めました。中身は10年後の自分へ宛てた手紙、学級日誌、思い出の写真やDVDなどです。中学校は常に地域の活動の中心でした。閉校しても、地域の集いの場であり続け、地域活動が活発になるように願っています。

友よ！思い出よ！  
いつの日かまた会おう！



土淵中の校歌が刻まれた記念碑が設置されました



土淵中第66回卒業生  
(17人)



各校の生徒代表が校旗を各学校の校長へ返納した。上段左から遠野中学校、綾織中学校、小友中学校、附馬牛中学校、下段左から土淵中学校、青笹中学校、上郷中学校、宮守中学校

## 中学校再編成特集

# 門出

この3月、市内8つの中学校でそれぞれ閉校式が行われ、4月には新たな3中学校が開校した。その閉校式の模様や新3中学校の概要を紹介する。

## 学び舎に感謝

### 母校に別れ

3月22日から24日までの3日間、市内8中学校の閉校式がそれぞれ行われた。式典には生徒のほか、卒業生や地域住民など多くの人が参列。各校の校旗が市教育委員会に返納され、半世紀余りの長い歴史に幕を閉じた。

各校の生徒代表は「地域の皆さま、先輩方の支えのおかげで、今の私たちがいる。これまでの伝統を受け継ぎ、仲間たちと共に新しい歴史を築いていく」と地域や家族、先輩に感謝し、今後の生活へ決意を述べた。出席者は生徒のたくましい姿に拍手を送って激励した。校旗の返納では、たくさんの思い出が詰まった学び舎へ思いを馳せ、目に涙を浮かべる出席者も。式の最後には各校とも出席者全員が

校歌を斉唱。学び舎には凛とした歌声が響き渡った。

### 感謝の「かたち」

各中学校の生徒はこれまでに、地域住民の協力を得ながら、部活動や郷土芸能、ボランティア活動などに取り組んできた。それらの活動の拠点となっていた学び舎への、生徒や地域住民の思いは大きい。その感謝の気持ちを込めて、さまざまな催しが各地域で実施された。

綾織中では各部活のユニホームやさまざまな横断幕を廊下に展示。訪れた卒業生らは懐かしそうに展示物を眺め、思い出に浸る。また閉校記念コンサートを開催しようと在校生や同校卒業生、地域住民らが「綾中メモリアルバンド」を結成。閉校式後のコンサートでは「坂本九コレク

### 新設中学校の幕開け

4月からは遠野中、綾織中、附馬牛中の3校は「遠野中学校」、土淵中、青笹中、上郷中の3校は「遠野東中学校」、小友中、宮守中の2校は「遠野西中学校」として、それぞれ新たなスタートを切った。さまざまな思い出が詰まった学び舎に別れを告げ、生徒たちは新しい仲間たちと、新しい学校の基礎をつくるため歩み始めている。

上郷中では、シンガーソングライターとして活躍するあんべ光俊さんを招待。あんべさんの父親が上郷の出身であることから、上郷をテーマにしたオリジナル曲を披露。生徒との合唱で、上郷中の長い歴史を振り返った。このほか各中学校でも卒業生による思い出を語る会や、応援歌、郷土芸能の披露などで、学び舎への感謝の気持ちを表した。

## 地域の方々に感謝のエール

小友中は閉校式後、閉校を記念する記念プレートを除幕。思い出を語る会では、生徒たちが同中で長らく歌い継がれてきた応援歌を披露しました。体を揺さ振り、全力で歌う生徒たちの姿を、卒業生や地域住民は懐かしそうに見入っていました。

## 記念コンサートを開催

上郷中ではあんべ光俊さんを招き、記念コンサートを開催。あんべさんは上郷を舞台にしたオリジナル曲など9曲を披露しました。在校生らはあんべさんと「イーハトーブの風」を合唱し、学校の長い歴史に思いを馳せました。



## 「附中魂」よ、永遠なれ

附馬牛中の閉校式の会場には、スローガンである「附中魂」ののぼりや同中の歴史を記した垂幕を設置。式後は記念碑の除幕式が行われ、「附中魂」と記された石碑が披露されました。出席者はあらためて「附中魂」を胸に刻みました。



1\_ 青笹中の懇親会では、同中で取り組んできた青笹しし踊りが披露された 2\_ 遠野中はエールで閉校の幕を閉じた 3\_ 宮守中ではOB・OGが当時の思い出を語った

# 4月1日に新たに誕生した 中学校 3校を紹介します

新しい3中学校の生徒数や部活動、校歌などの基礎情報をご紹介します。

学校へ行こう！

教育目標  
学びの心をもって知性と体力を磨き、郷土を愛し、たくましく未来を拓く生徒の育成

**SCHOOL DATA**

**遠野中学校**

★生徒数 全校415人  
1年 129人(4学級)  
2年 142人(4学級)  
3年 139人(4学級)

★所在地 遠野市松崎町白岩11-30

★連絡先 0198-62-2814

遠野中、綾織中、附馬牛中の三校の再編成により誕生しました。市内の中心部に位置しており、三中学校の中では生徒数、部活動数などが最も多いです。なお、部活動には新設、廃部はなく、転部が可能です。校舎は旧遠野中学校の位置に、中学校再編成に合わせて新築されました。三中学校の中で唯一新築工事さ、今後は音楽室や体育館の改修工事も順時行われます。太陽光パネルも設置され、得られた電力は蓄電され、有事の際などに活用されます。直近の催しは5月に行われる体育祭です。

★教員数 24人

★部活動(全13種類)



作詞：菊池蟬堂 作曲：新田光志

**校歌**

一白雲流る 群青の空にそびえし 早池峰に誓いしわれら 同胞の固い絆 今成りて共に進まん 遠野中学校の歴史あふれる 遠野郷の文化のかおり 讃えつつ拓かんわれら 未来の日を学びの窓に 高め合う共に励まん 遠野中学校三水面清らに うねりたる実りもたらす 猿ヶ石若人われら 健やかに伸びゆくすがた 逞しく共に鍛えん 遠野中学校



教育目標  
知・徳・体を鍛え、未来を拓く  
人間性豊かな生徒の育成

土淵中、青笹中、上郷中の三校の再編成により誕生しました。校舎は旧青笹中に置かれています。三校は生徒数などが同規模で、部活動は全部で六種類。これまでも部員数が少ないながらも各部で県大会上位に入賞するなど、スポーツ活動が活発です。

このほか三校ともしし踊りや音楽などの郷土芸能伝承活動、公民館等の清掃や雪かきなどのボランティア活動に地域の支援を得ながら取り組んできました。直近の催しは5月に行われる体育祭です。

★教員数 14人

★部活動(全6種類)



作詞：佐々木謙 作曲：吉永実千枝 編曲：新田ちよ

**校歌**

一山なみ続く 東方の麓に開けし 我が里に互いに磨き 高めあい鍛えし仲間 集いたる共に歩まん 学びの道をああ 我ら遠野東中二緑に水面 照り映えて稔り豊かな 我が里に互いに励み 伸ばしあい学びし仲間 集いたる共に歌わん 希望の歌をああ 我ら遠野東中三伝統の技 数ありて文化栄える 我が里に互いに心 寄せあいて腕組む仲間 集いたる共に創らん 新たな歴史ああ 我ら遠野東中



**SCHOOL DATA**

**遠野東中学校**

★生徒数 全校163人  
1年 48人(2学級)  
2年 59人(2学級)  
3年 55人(2学級)

★所在地 遠野市青笹町青笹10-16

★連絡先 0198-62-2816

教育目標  
新しい時代をたくましく  
生き抜く人間の育成

小友中、宮守中の二校の再編成により誕生しました。校舎は旧宮守中に置かれています。

部活動は現在六種類ありますが、新たに特別陸上部を設置する予定です。

近年は旧宮守中がこれまで全校で取り組んできた合唱が、IBC子ども音楽コンクール中学校部門で初めて東北大会へ、旧小友中では「私の主張」で北海道・東北ブロック予選へ、それぞれ出場するなど、文化面での活躍も光っています。直近の催しは5月に行われる体育祭です。

★教員数 14人



★部活動(全7種類)

作詞・作曲：阿部充 編曲：新田ちよ

**校歌**

一遠野西部の 文の館紫色に映ゆる 我が母校 大志を抱き 胸を張り明日に道を 拓くときこそぞりて学ぶ 若人我等心繋ぎて 遠野西中学校二久遠の光 文の丘 声満ち満ちて 我が母校自主の精神 知を磨き明日に理想 求むとき眉あげ学ぶ 若人我等文化創りて 遠野西中学校三四方清爽の 文の風山百合ゆかし 我が母校心を広く 身体を鍛え明日に力 燃やすときいそしみ学ぶ 若人我等歴史刻みて 遠野西中学校



**SCHOOL DATA**

**遠野西中学校**

★生徒数 全校145人  
1年 49人(2学級)  
2年 47人(2学級)  
3年 44人(2学級)

★所在地 遠野市宮守町下宮守39-65

★連絡先 0198-67-2139

# TOP INTERVIEW

新設3中学校の校長先生に、  
遠野の教育の印象と  
それぞれが目指す「学校像」をインタビューしました。

## 遠野西中学校 菊池塔寿校長



宮守中では1年間、校長を務めさせていただきました。宮守中生はあいさつがしっかりしているほか、合唱に全校で取り組むなど、心を一つにできる団結力があります。また、地域の皆さまと協力しての奉仕活動や郷土芸能の継承活動など、何事にも地域に密着して活動してきました。

4月から一緒になった小友地域には、各地域のしし踊り、神楽のほか、氷口御祝、裸参りなど特色ある伝承や文化がたくさんあります。それらの担い手として中学生が活躍しており、地域の「宝」を大切にしている学校だと思っています。共に地

地域の皆さまと  
一緒に  
新しい歴史を  
刻んでいきたい！

共に切磋琢磨し、  
成長していける  
遠中生に  
なってほしい！

それぞれの個性を  
認め、学び合い、  
互いに高め合える  
学校にしたい！

学校の再編成により、子どもたちにはこれから多くの人と出会いが待っています。たくさんの人との出会いの中で、人を鏡に自分を見つめる機会も多くなると思います。社会に出れば必然的にそれぞれの個性を認め合いながら暮らしていかなければなりません。その経験をこれからの中学校生活で積み、今後の人生

に生かしてもらえればと思います。人は人との関わり合いの中で成長していきます。人との出会いでさまざまな考え方の選択肢が増えることにもつながります。この再編成が生徒や保護者、地域の皆さまから、良かったと実感してもらえよう、学校の運営を全力で支えていきます。

## 遠野市教育長 藤澤俊明

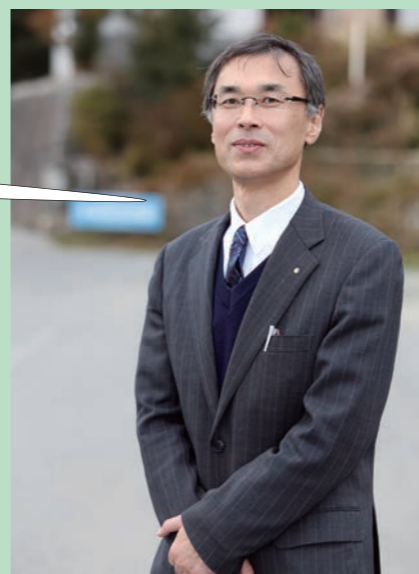


## 遠野中学校 牧野和男校長

「ふるさとまるごと学び」の綾織中で、本当に充実した2年間を過ごすことができませんでした。大切にしなければならぬ「不易」と進んで取り込むべき「流行」がほどよく調和し、世代を超えて学校を支えてくださる最高の教育環境だったと心より感謝しています。引き続き日本の遠野市、その名をいただく新設遠野中学校に勤務できる喜びとその責任の重さを感じています。

「閉校」「開校」という、稀有の体験を通し、子どもたち、保護者、そして教職員を受けとめも思いも、決して一つではないことは十分に承知しております。私の役割は、まずはそれを一つに束ね、「勤勉・協働・開拓」の校訓のもと、志を高く掲げ、「地域と共に歩む」学校の具体化・具現化を図ることだと思っています。

## 遠野東中学校 三浦和人校長



これまで県内の小学校や中学校、教育事務所に勤務してきましたが、遠野での勤務は初めてです。学生時代、友人が遠野勤務であったことからよく訪れ、博物館などで、遠野の文化や歴史を学んでいました。

大船渡市の綾里中学校でバレー部の顧問をしていたとき、青笹中に練習試合に来たことがあります。当時から青笹中はバレー部が強く、胸を借りるつもりで挑み、練習方法も教わり大変お世話になりました。生徒たちはあいさつなどの礼儀もしっかりしており、部活動以外も大変参考になりました。その遠野の校長を任